

なかま



大田区立石川台中学校

第三学年通信

No.111 令和2年(2020). 5.22 (金)

よく学び、よく遊べ

月並みだけれども、これがなかなかできないのですね。つつい楽しいことばかりが先行してしまう。でも、中には学ぶことが楽しくてしかたがない人もいます。いや、本来、学ぶことは楽しいはずなのです。論語の中に「学びて時に之を習ふ、亦よろこばしからずや（まなびてときにこれをならふ、またよろこばしからずや）」とあります。みなさんもそういう経験があると思います。何かがわかるようになったとき、できるようになったとき、、、いかがですか？そんな経験をふやしたいですね。

さて、課題も終わってしまい、何かないかなあと迷っている人にお勧めは、「好きな本を書き写すこと」だそうです。英語でもいい。詩集もおすすめです。優れた文章は流れるようだったり、リズム感があったり、韻をふんでいたり、、、声に出して読むだけでもいいけれど、手を動かして書くと身体に文章が入ってくるそうです。五感を使って試してみるのも一興かと思えます。

印刷物が高価な時代、人は書物を丸写ししていました。勝海舟は、蘭学を学ぶために、辞書を丸写したそうです。しかも2冊。そのうちの1冊は、貧しかったので、売るためだったそうですが。

学んだら、運動を！

と言っても、たくさんのなかまと一緒というわけにはいかないですが、季節はさわやかな初夏です。3密を避けて、上手に身体を動かしましょう。

大田区にはたくさんの自然があります。身近な自然に触れてみてください。

道ばたの野草を見てください。意外といろいろな色や形のものがあります。

野鳥の声を聞いてみてください。(朝早い方がいいです。)
「テッテッポー(キジバト)」

「チュウベエ、チョウベエ、チュウチョウベエ(メジロ)」「ツクッテ、ドロクッテ、シブーイ(ツバメ)」「ツーピー、ツーピー(シジュウカラ)」「ギャー(オナガ)」「チュン、チュン・ジュッ、ジュッ(スズメ)」 姿は見えない野鳥でも、鳴き声で区別できますよ。

明けない夜はない。 もう少しの辛抱

右の写真は教員室前のバラです。今年はずっとよりきれいに咲いているように思いますが、もっと輝いている石中生がないからそう見えるのでしょうか？

